

4. 検討会の記録

1) 検討会での意見

場所	テーマ	検討会でのご意見
複合庁舎全般	全体配置	・世代を越えた交流につながる場をいろいろ工夫してはどうか。(通路空間とキッズスペースを合体する。)
		・民間施設と一体を考えなければ良い施設にならない。民間施設の機能によっては中庭的オープンスペースに圧迫感を与えるスケールになってしまわないか。
	バリアフリー	・建物を上がり下りするうえで、階段、エレベータだけでなく、エスカレータの設置が望まれる。
	外観デザイン	・南郷通と環状通の交差点に位置することから建物の外観も重要。役所の建物は固い印象がある。開口部を大きくしたり曲線を取入れるなどして、役所らしく無い遊び心のある建物にして欲しい。
	内観デザイン	・吹き抜け空間は、明るい開放的なイメージを与えるし、いろいろな活動が見渡せる上でも是非、実現したい。
		・吹き抜け空間は魅力的だが、コストや面積配分なども考えて、重要な施設に皺寄せが来ないようにすべき。
	防災機能	・災害時の避難場所として機能するよう自家発電設備、緊急貯水槽を整備すべき。
	環境対策	・太陽光発電等は費用対効果を踏まえて検討すべき。
その他	・将来の社会状況等の変化に合わせて、フレキシブル(柔軟に)対応できるしつらえや設備を考える事が重要。	
	・高齢化が進む中、高齢者の利便性に十分に配慮を。	
	・用事がなくても多世代が集まる、行きたくなる場所というようなキャッチフレーズをつけては。	
区民協働スペース	区民協働スペースのあり方	・それぞれの場を一つの機能で考えずに複合的な役割を果たせるようにして行く事が重要。(キッズスペースに絵本を置いて学習にもなるように。図書館をくつろげる憩いの場にもなるように。)
		・「子ども」が飲み食いしたり、勉強しながら長居が出来るように。(ルールは大人が)
		・駐輪場の内装を、市民参加のアート作品とできないか。
	郷土資料展示スペース	・郷土史料の展示にあたっては、学校教育との連携や図書室との連携(配置などにも留意)を図るべき。
		・郷土資料館は1階のゆとりの空間に設置し、ガラス張りなどで見やすくするなどの工夫が必要。
・タウンミュージアム(まちの博物館)は、歴史だけでなく、地域の産業や地域固有の素材も取入れるようにしてはどうか。 ・郷土資料の展示は、歴史だけに偏らず、現在の白石(産業、文化)についても考えるべき。		
吹抜けカウンター	・Wi-Fiが使えるようにしてほしい。	

場所	テーマ	検討会でのご意見
地下 エントラ ンス	地下エント ランスと庁 舎 1 階の接 続	・ 上り、下り両方エスカレーターが欲しい。
	地下エント ランスと上 層階の接続	・ 地下鉄階から上層階まで乗換無しでエレベーターで上げられるようにしてほしい。
地上 エントラ ンス	庁舎出入口 のデザイン	・ 建物の入り口に立った時や、エントランスホールに入った時に、いろいろなアクティビティ（活動）が見える事が、誰もが気軽に立ち寄り、交流が生まれることにつながる重要な要素。
	情報提供の あり方	・ 情報発信のスペースなどは具体的な活用イメージをもとに考えないと。
庁舎内諸 室	食堂	・ 多くの人に利用してもらえるような食堂にしてほしい（値段が安い。健康的なメニュー。多くの人アクセスしやすい配置についても検討を）。
		・ 図書室利用者などのニーズもある。最上階への設置も検討すべき。
		・ 食堂のテラスは屋内化し、眺望を楽しめるようにした方が良い。
ちあふる	園庭	・ ちあふるの園庭を、区民も活用していければ良い。
区民セン ター	区民センタ ー貸室	・ 和室は3部屋も必要か。
	事務室	・ スタッフは単なる受付事務をするのではなく、生涯学習のアドバイザーやコーディネーターの役割をするので、事務室のスペースがもっと必要である。
	役割	・ 指定管理者は交流を仕掛けるような情報発信をすべきである。
	その他	・ トイレの面積が少なすぎないか。
駐車場	設備	・ 区役所利用者駐車場で 150 台では足らなくなるのではないか。
	料金	・ 無料にすると車を停めて地下鉄利用する人も出てきて、区役所利用の車が止められなくなるのではないか。
駐輪場	冬場の活用	・ 駐輪場の冬場の活用など、四季をつうじて有効活用されるように考えて欲しい。
	区民参加	・ 駐輪場の壁を活用し、区民参加でタイルアート制作ができないか。
民間施設	民間施設と の接続	・ 立体駐車場の利用を考えると、民間施設と渡り廊下でつなぐことができないうか。
その他	制度、ルール の検討	・ 指定管理制度の中で、誰もが気軽に利用でき交流に繋がる「無料スペース」の取扱いをどうするかが課題だ。 ・ 無料スペースの利用管理ルールを考える必要がある。（単なる場所の占拠にならないように。）
	事前調査	・ 埋蔵文化財の有無に寄って完成時期が左右されるので、早めの調査が必要では。

